

『山梨県環境整備センターオオタカ保護連絡会議』について

～ 会議の概要 ～

《経緯》

- ・ 公益財団法人山梨県環境整備事業団では、平成12年から山梨県環境整備センター（以下、「センター」という。）周辺でのオオタカの生息・繁殖状況のモニタリング調査を開始した。
- ・ 平成13年には、鳥類専門家によるオオタカ保護策に係る検討を目的とした会議を開催し、平成19年からは、地元自然保護団体を加えた『オオタカ保護連絡会議』を設置した。
- ・ 以後、同会議では毎年実施したオオタカ等繁殖期モニタリング調査（以下、「モニタリング調査」という。）結果の評価・検討を行っている。
- ・ 今回の会議は、通算10回目の開催となる。

《平成26年の保護連絡会議の内容》

本日、会議を開催し、次のとおり平成26年のモニタリング調査結果及び今後のモニタリング調査について検討を行い、承認された。

（1）平成26年モニタリング調査結果について

- ・ モニタリング調査結果及び地元自然保護団体の情報から、昨年と同じセンター周辺の巣（1箇所）において、オオタカが繁殖に成功したものと考えられる。
- ・ センターの業務は、オオタカの繁殖に影響を与えていない。

（2）これまでの調査結果のまとめ

- ・ 平成23年から4年連続してオオタカが繁殖に成功した。
- ・ オオタカは営巣地を換えることがあるものの、概ね継続的に繁殖しており、工事中、操業開始後において、オオタカの繁殖への影響はないものと判断される。

（3）今後のモニタリング調査について

- ・ 今後は、工事中及び操業開始後と比較して、大型車両や重機等による恒常的な作業はなく、発生する環境負荷は軽微なものとなることから、今年度をもってモニタリング調査を終了する。
- ・ なお、今後、大型車両による作業等が必要となった場合には、モニタリング調査の実施を検討する。